

手賀沼流域

協働調査結果(令和2年度)

河川

【大堀川流域】

COD濃度の平均値が6.2mg/Lを示した。他流域よりも市街地の割合が大きく、上流の一部及び合流する樋管の地点で高い値を示す傾向がある。

注:大堀川における調査地点No.の枠内が赤塗り白文字になっている地点については、大堀川に合流する直前の樋管等にて観測した値を示す。

大堀川流域



No.21 駒木台108-4地先



No.22 美田653-50地先



No.23 美田69-353地先



No.24 駒木189-2地先

大津川流域



No.7 大井二子橋付近



No.1 増尾橋



No.2 大宮橋



No.3 あしかわ橋



No.4 高柳馬渡橋付近



No.5 高柳かにうち橋付近



No.6 栗野串崎新田



No.11 後原上樋管



No.12 天神前樋管



No.13 西前田樋管



No.14 高田緑地前



No.18 地金堀合流前



No.19 地金堀樋管



No.20 地金堀合流後

染井入落流域



No.8 宮前

【湖北集水路流域】
COD濃度の平均値が8.0mg/Lを示した。

湖北集水路流域



No.35 岡発戸



No.34 都部新田

亀成川流域



No.28 水神橋



No.29 花輪橋



No.31 古新田第四橋



No.30 別所青年館



No.33 京免一号橋



No.32 滝

【大津川流域】
COD濃度の平均値が4.2mg/Lを示した。

【金山落流域】
COD濃度の平均値が5.3mg/Lを示した。

【亀成川流域】
COD濃度の平均値が2.8mg/Lを示した。調査開始以降、他流域よりもCOD濃度の値が低い傾向にある。

もっと知りたい人は...

手賀沼水環境保全協議会

<http://www.tesuikyjo.jp/>

金山落流域



No.25 大松



No.26 富塚無名橋



No.27 名内無名橋

CODは、水中の有機物を酸化する際に必要な酸素量で、値が大きいほど水が汚れていることを示します。CODが高いほど水中の酸素が多く消費されて溶存酸素が減少し、微生物による自然浄化が阻害されたり、生物が生存しにくい環境になります。

CODの汚濁負荷源は、主に生活排水や事業場排水、市街地の路面等です。また、植物プランクトンが沼で増えるとCOD値を高めます。近年の削減対策により、特に生活排水の汚濁負荷は大きく減りましたが、市街地の路面等からの汚濁負荷は減少していません。

凡例

- COD(mg/L)-
 - 0以上~2未満
 - 2以上~4未満
 - 4以上~6未満
 - 6以上~8未満
 - 8以上~10未満
 - 10以上~12未満
 - 12以上
 - 欠測地点
- 手賀沼流域界
- 手賀沼流域水系
- 市町村界
- 下水道整備地域(〜H26.3)
- 水田
- 北千葉導水路
- 北千葉導水注水地点